



ぶどうのささやき

8号

2010年
10月25日発行

地域経済の活性化を目指し、社会貢献をしています。

神奈川R & Dネットワーク構想について

神奈川県には、大企業等の研究機関、技術力のある中小企業、理工系大学、公的試験研究機関が数多く立地しています。県では、これらの世界トップレベルの研究開発機能の集積を県内中小企業の技術力、競争力の向上につなげ、「世界をリードする新たな産業の展開」を図るため、「神奈川R & Dネットワーク構想」を推進しています。この構想の中心となっている「神奈川R & D推進協議会」の産学公の技術連携を促進する具体的な取組みを紹介します。

神奈川R & D推進協議会は、県の企業誘致策「インベスト神奈川」を活用して、県内に研究所等を新・増設した大企業14社と県が参加して、平成17年度にスタートしました。今年度から、これまでのメンバーに加え、県内企業のほか、大学、研究機関等、新たに6機関が加わった新たな体制で活動を行っています。

神奈川R & D推進協議会は、昨年までの5年間で、①大企業から中小企業への技術移転、②県内中小企業のオンリーワン技術の大企業での活用、③産学公連携による共同研究、④人材育成の4つの視点から、フォーラム、セミナー、共同研究など、122件の取組みを行ってきました。

神奈川県商工労働局長
藤井 邦彦



中小企業のオンリーワン技術を紹介する展示会では、7億円を超える取引につなげることができたほか、協議会メンバーとなっている大企業が、県内中小企業の製品を採用した研究施設で他機関と共同研究を行う「オープンラボ」を開設するなど、大きな成果を挙げることができました。

また、今年度から、中小企業活性化推進条例や地球温暖化対策推進条例など、県の進める施策をふまえた新たな活動を展開しており、低炭素社会への対応などの社会的課題に関わる研究会(低炭素社会構築研究会)や、産業の新規成長分野に関わる研究会(ライフサイエンス研究会)を立ち上げたところです。今後も、県内の技術連携をさらに促進し、本県産業の技術の高度化、高付加価値化を目指した取組み、成長分野への参入を支援する取組みを行っていきます。

NPO法人産業クラスター研究会の皆様には、地域経済の活性化、県内中小企業の振興にご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、ますますのご発展とご活躍を期待しております。

クラスターとは・・・

クラスターとは、ぶどうの房や羊の群れを意味します。米国の経済学者マイケル・ポーター氏が著書『経済戦略』の中で異業種間のネットワークを構成している状況を意味するものとして『産業クラスター』という言葉を使っています。私たちは地域経済活性化への貢献を目指して、2003年8月に産業クラスター研究会を設立しました。

平成22年度下期事業計画

理事長 木下 武

わが国の経済は9月の政府・日銀の為替介入により円高は一時的に小康状態となりましたが長期的には円高傾向が継続するとの見方が強い。中小企業も含めた製造業の海外移転による産業空洞化が現実には更に進行しており、これにともなう雇用不安などの問題もあり地方経済は当分低迷することが予想されます。

このような状況下では、当会はたえず地域経済の実情把握に努め、それに基づく更なる支援活動の強化が必要です。そのための当会の本年度下期運営・事業方針を下記に述べます。

1. 運営関係

1) 法人会員との関係強化

当会設立の原点にもどり、横浜地区の法人会員も含めて改めて各法人会員への個別訪問を強化しニーズを集約して定期的な意見交換会・講演会などを開催して更なる関係強化、新規法人会員の拡大に努めます。

2) 行政補助金・委託事業への取り組み

今までに築いた横須賀市・横浜市・県などへの良好な関係を更に強化して各種助成金の申請、業務委託の受託、法人会員への情報提供などの活動を推進します。

3) 個人会員の強化

住宅リフォーム説明会・各種講演／交流会・他団体主催の諸行事などへの参加により永年の課題である個人会員の増強を図ります。

4) 事務所運営の効率化

横浜事務所は9月末にて金沢区に移転し、下期は横須賀 YRP 事務所を中心とした更なる IT 化の導入、経費節減などを推進し事務所運営の効率化を図ります。

2. 事業関係

1) 環境関連事業

本年度より取り組んだ新規事業ですが、横浜市の ECO2 計画、金沢区中心のグリーンバレ構想、横須賀市の都市鉱山回収事業など対象事業範囲が多岐にわたるため、先ずは対応可能な事業に絞込み、速やかに取り組む所存です。

2) 社員教育

昨年度の全法人会員を対象とした個別訪問で最もニーズの高かった項目の調査・計画が完了したので、下期は新人教育と中堅社員教育の二本立てで実施に移します。

3) 産学官連携事業

今までの横浜国立大学や関東学院大学との連携に加え、新たに横浜市立大学教授との連携も始まりました。また、環境関連などを含めた交流会なども計画しております。

4) 各種支援事業

特許・ISO・海外関連事業・ホームページ・横浜事業などは現況の経済環境の下でかなりの苦戦を強いられていますが、個人・法人会員の人脈を活用した新規案件受注も散見されています。また、住宅リフォーム支援事業の強化も含め皆さまのご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。



【歳時記】

彼岸が近づき、猛暑から解放されたと感じたら急激に涼しくなった。

秋の恒例行事、国民体育大会「ゆめ半島千葉国体」が9月下旬から始まった。26日、国体高校野球が銚子球場で開催された。

夏の甲子園でベスト8入りの有力校、地元・成田、春夏連覇の興南、準優勝の東海大相模、興南に先制攻撃を仕掛けた報徳学園など有力校が勢揃いした。

さて、あの暑い夏の甲子園大会試合を夢心地で思い出す。野次馬根性を交えて。液晶のワイド画面からの臨場感は素晴らしい。投手の球筋と打球の行方。堪らぬ一瞬の画像など。

準優勝の東海大相模は一二三投手が急遽横手投げに変え、連投・連戦し、快進撃をする。準決勝戦では成田にリードされるも逆転勝利。興南は報徳学園に8回逆転・勝利。短打戦法に鳥袋投手のトルネードも打ち込まれる。

決勝戦、一二三投手は全力投球するも、4回と6回に大量失点を喫する。県民ファンには残念・無念、暑さ百倍であった。

さて、秋晴れの「ゆめ半島高校野球大会」、銚子の空にどんな夢ドラマが生まれるのか楽しみである。地元新聞には「最後は相模優勝」と試合前から見出しで躍る。

成田は明德義塾に敗退。興南は仙台育英に順当な勝利。報徳学園は関東一に敗退。興南と関東一の対戦が待たれる。東海大相模は北と対戦した。

本日の地元紙記事によると、一二三君曰く、「タテジマのユニフォームを着る最後の試合。絶対に勝ちたかった」とのこと。5-1、9奪三振で勝利し、いよいよ夏の屈辱を晴らす舞台が近づくか。……

秋の空はなんとやら。雨に祟られ残り試合全て中止。相模優勝も朝露と消える。(紀)

法人会員紹介

〒238-0032 神奈川県横須賀市平作 6-7-21
TEL.046-852-2601 FAX.046-852-2614
<http://www.highsokki.com/>

高品質なサービスを追い求めて！ 光学機器の修理・校正・検定に

弊社の創立者 現社長の本田 徹は、光学機器のニコンにおいて測量機製造・開発・設計を経て営業部門に従事しておりましたが、自社製品の使用される状況を見るにつけアフターサービス改善の必要性を痛感、1997年に独立して、よりユーザーに密着した事業をおこなうことを決心いたしました。測量機器が使用されるのは土木建設関係が多く、機器の使用環境は悪天候、粉塵など、高温・低温また高湿など実に苛酷なものであり、どうしても度重なる機器の故障修理、校正などが多発しユーザーにとっては高い保守コストが問題でした。そこで本田はメーカー時代に得たノウハウを生かし、測量機販売・修理・レンタルに特化した会社で効率的に高品質・廉価なサービスをユーザーに提供しようとしたものです。このため、会社の方針としては、豊富な経験、技能、知識を生かし高品質なサービスとコストダウンを掲げて事業をおこなっています。

また、当社は校正・検定会社として日本測量機器工業会(JSIMA)の審査に合格し、国際的にも有効な測量機器の検定書・校正証明書・トレーサビリティ体系図の発行もおこなっていますので、施工請負に必要な要件を当社で全てそろえることが可能です。

当社の営業職は、創業方針に基づき高度な技術知識を備えており、従来はそれぞれの専門職が担当していた修理品の鑑定作業をおこなえるようにしました。これにより営業職が直ちに作業明細書を発行し修理に回す方法で約30分の時間短縮するなど、お客様へのコンタクトの第一歩からコストダウンに取り組んでおります。

高精度を要求される測量機器の修理・校正には、その基盤となる高精度かつ高度に安定した調整・検定設備および作業員の能力が必要ですが、当社では次のような体制で製品・サービスの信頼性を保証しております。

* コリメータシステム

・4方向ニコン製高性能コリメータシステムを3基設置し、レーザーレベルの調整工具もCCDカメラおよびモニターにて調整



株式会社 ハイ測器



* 検定室内基線の設置

・コンクリートで固定した1素子プリズムを5ポイント設置し、また150メートルの所にも基線を設置し、毎年基準機は日本測量機器工業会にて検定を受けています。

・従業員の技能資格としては、光学機器組立作業、電子機器組立作業、治工具仕上げ作業の技能士、また(株)ニコン・トリプルが実施する“測量機修理”修了書 などがあります。

事業内容としては、測量機器の修理・校正にとどまらず、当社の所有する技術・ノウハウを生かして、光学機器製品等の組立調整および電機基板への実装

作業、測量機(トータルステーション・セオドライト・レベル・電子レベル)販売・レンタル、気象機器・試験機器・環境機器・測定機器・保安資材等の販売・修理、測量機器中古品の売買、測量機器工業会検定センターへの検定業務の受付等をおこなっています。

弊社は、横須賀の地に産声をあげてから今日まで、多くのお客様に支えられてきました。ご厚情に

心より感謝申し上げます。

私たちはつねに品質を第一に考え、従来は常識だと思われていた高額なメンテナンス費用を徹底したコストダウンにより、比類のない価格で提供できるようになりました。これからも、大地に足をつけてお客様の最善のパートナーとして努めていきたいと思っております。今後とも、より一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



4方向ニコン製高性能コリメータシステム

部会活動紹介

環境事業の取り組みについて

地球環境保全とエネルギー安定確保は地球規模での共通課題である。この課題に対しては、①新エネルギーの導入 ②革新的エネルギーの高度利用技術の開発導入 ③省エネルギー技術の開発と導入 ④原子力発電の増設 ⑤ごみ・廃棄物の減量とリサイクルの推進などが、解決のカギとされ、国、地方行政、全産業、大学・研究機関、一般市民と国民全員参加での取り組みが始まっている。

産業クラスター研究会もこれに幅広く、深く産官学民と連携し、県、横浜市、横須市、隣接市の一般市民と連携し、安全で快適な生活ができる街づくりと新しい産業創生に貢献することを目的として活動を始めている。

その動機は以下の経済・社会情勢の中で、当会シニア集団の経験と体験を支援活動に生かしたいことにある。

1) 1970年代からの日本の高度経済成長の担い手であり、支えて来た年齢(層)である。その基盤となったのは、「優れた品質での合理的な生産活動」である。これは正しく省エネ(省力化)技術の蓄積の成果であったといえる。

2) 環境問題では公害、大気・河川の汚染問題に、

エネルギー問題では第一次、第二次石油ショックを体験し、特に石油が社会・家庭生活、産業界に及ぼす影響力の大きさを知り、「国民全員での物の節約」を経験している。

3) 自動車急速に普及し、豊かで、便利で、楽しい技術文明を謳歌してきたが、排気ガスからの有害物質(CO, HC, NOx)で、大気汚染、光化学スモッグ、オゾン層の破壊などが環境・社会問題となった。米国では1971年にマスキー法が施行され、日本が世界に先駆けて有害物質除去装置を開発・実用化した。また、1990年に米国カリフォルニア州が自動車排気ガスのZEV(有害物質ゼロ)規制を発表し、今日の電気・燃料電池自動車などの開発と実用化に繋がっている。自動車産業が経済・産業の中心になる一方、環境・エネルギー問題を一層クローズアップさせた。

問題・課題解決にその知見と長年にわたり培った私たちの人的ネットワークは環境事業に必ず実利的な役割を果たせると確信している。取り組みの第一歩として、環境問題を自由に話し合える、交流サロン(懇談会)の設立に取り組んでいる。具体的には次号でご紹介します。(阿部昭彦)

住宅リフォームの取り組み

行政がいくら注意を呼びかけても、住宅リフォームに関する悪質業者からの被害件数は減らないどころか騙しの手口が巧妙化して被害額が増えているのが現状です。一方、高齢化社会を迎えた今日騙されやすい高齢者が増え続けているので、社会貢献を目指す当会としては高齢者の被害だけでも防がなくてはと思い、始めたのが「住宅リフォーム目付け役事業」です。



セミナーと相談会

今までも「目付け役事業」のPRはやっていましたが、認知度が低いので本年度は横須賀市の関係部署の力強いご支援を得て、次のように「住宅リフォームセミナー」を開催し事業PRに努めることにしました。武山と池上会場でのセミナーは終了しましたが、セミナーと相談会の開催日時と場所は次のとおりです。

◆「セミナーと相談会」の開催日時と開催場所◆

開催年月日	開催時間	開催場所
H22 / 11 / 20(土)	13:00~15:30	岩戸コミセン
H22 / 12 / 18(土)	13:00~15:30	鴨居コミセン
H23 / 01 / 29(土)	13:00~15:30	大津コミセン
H23 / 02 / 19(土)	13:00~15:30	田浦コミセン

この他、11月6日~7日三笠公園で開催される「よこすか産業まつり2010」の当会ブースでも住宅リフォーム相談を行います。(古川弘康)

📍 横浜事業の企業との交流

私たち横浜地区の中小製造業支援活動は横浜市との協働事業「横浜市経済の新たな担い手創生事業」の活動を踏まえ、協働事業終了後も地域経済の支援と活性化のため活動を展開している。協働事業展開中から今日まで訪問した企業は約150社、延べ250回の訪問回数になる。訪問企業の業種は次のグラフの通りであり（登録分のみ）、その他としては機械建造物、電気工事、塗装、電気炉、運送、印刷、製菓、ホテル、銀行がある。

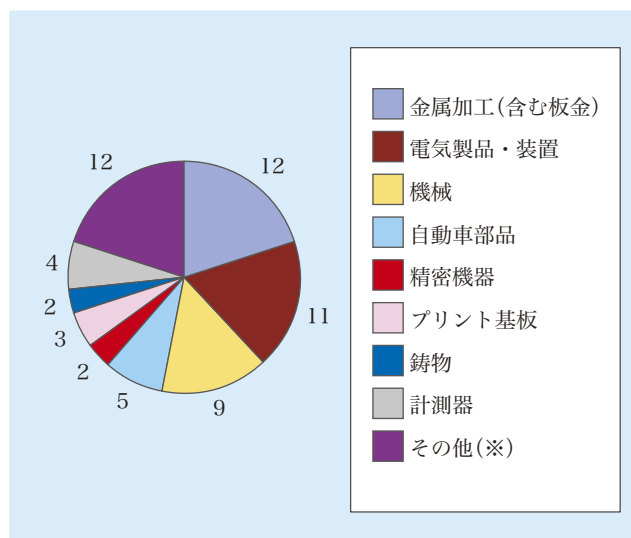
さてこれまでの企業訪問を通じて出てきている課題は次の通りです。

- ① 販売先の紹介 ② 特許申請 ③ 社員教育（含む後継者育成）

その他 次のような要請案件があり取り組んできた。

- ・下請け先の紹介
- ・技術相談（含む新商品）
- ・ISO取得
- ・報告書作成
- ・HP制作
- ・工場生産効率向上
- ・産学連携案件
- ・翻訳依頼
- ・部品の原価低減
- ・新規事業化の相談
- ・人事評価システムの相談
- ・講習会

— 昨年の米国リーマンブラザーズの破綻。その後持



ち直したとはいうものの 日本経済は大変痛んでおり、相変わらず輸出依存から脱却できず、本質的な改善には至っていない。円高、株安、米国・ヨーロッパ経済の下降に揺らいでいる。この間、最も打撃を受けているのは中小製造業。現場を歩いている私たちが一番肌で感じるのはそれである。日本の「ものづくり」はどこに向かうのか。中小製造業の皆さんの要望に、課題に答えることで何がしかのお役に立ちたい。
(佐々木 興吉)

事務局からのお知らせ

★横浜事務所移転（10月1日より）

住所：〒236-0055 横浜市金沢区片吹 69-26
Tel：045-781-8025

★新人研修セミナー

9月15日/24日に（財）横須賀市産業振興財団と共催で社員教育を横須賀市産業交流プラザにて実施。
講師は富田理恵子様。

★講演会と忘年会のお知らせ

*講演会：11月25日（金）18：00～19：00
講師 横浜市立大学 影山教授

横須賀市産業交流プラザ第2研修室（無料）

*忘年会：11月25日（金）19：00～21：00 横須賀市産業交流プラザサロン室

★新入会員紹介

個人会員 新井 全勝（あらい まさかず）…横須賀市武在 大手電機メーカー OB



新人研修セミナーのひとこま

座談会

こんなNPO活動にしたい！長所は短所、短所は長所

司会 今日NPO活動とは何か、こんなNPO活動にしたいなどをザックバラに話し合ってみたいと思います。本論に入る前に、話しの糸口として当会のいい点、悪い点を少し話し合ってみたらどうかと思えます。Gさんどうですか。

Gさん よそのNPOと比べていいところは、法人会員と個人会員がいることなんです。法人会員と個人会員がいるというところで、われわれは中小企業の現実の経営者の皆さんのニーズが把握できることです。それで何かいろいろなことをやろうとした時にやる(実行する)ことができるんです。やった結果いいこと悪いこと、それ(実績)を持って他に行ける(サポートできる)ということですよ。

悪いところは会員が増えない、法人会員も個人会員も、何故増えないかというところ(数)だけ辞めていくんです。減りもしない増えもしない。

Hさん 入ってはきてるんですけどね。

Gさん 入ってはきてる分だけ辞めるんです。何故辞めるかというところが入った目的を達したということで辞めていく会社も個人もある。しかし大多数は消化不良、地域の活性化ということで無料奉仕しますよ。そういう方でスタートしているわけではなく、そういう立派な言い方だけではなかなか通用しなくなってきたのが今の世の中なんです。CSR一本だけでは入ってきた個人では自分のやりたいことが見つからなかったり、入ってくる法人会員はやはりプラスにならないと辞めていく。そのへんの繰り返しなんです。次に当会が発展するためにそこあたりを見直さないと良くって現状維持ですね。

司会 いきなりストレートがきましたね。

Dさん やっぱ(企業は)プロフィットがあつた上でのCSRなんですよ。自分の会社の経営が成り立たないところでCSRはありえないんです。

司会 座談に入る前のCさんの入会の目的の話の中で(会の運営として)組織的に

上からの指示があつてもよいのではという話がありました。Cさんそれはどういうことですか。NPOは会社じゃないんだからロイヤリティや上下関係は関係ないと思うんですが。

Dさん ロイヤリティは関係ないことはない。

Cさん 勧誘された時は入らざるを得ないと感じた。それは、環境問題を行政に提案するという話で、大変なことをする会だと思つたが、いろんなことを考えないで入つた。(笑い)

先ず入会して嬉しかったのは、皆さん人柄がいい。NPOは指示や強制も出ない、自らがどうやってやるか、気軽にできると思つた。少しいい暇つぶしができると思つたが、たんとでもない。(爆笑)

クラスターでやっていることは本当にボランティアなのかと思つた。

そこでね、私は上から言われることがある程度あつていいと思つてるんですよ。理事長、副理事長から。言われた本人は、Yesという人は自分でオブリゲーションを負うことですよ、負えない人はNoでいい。そこはNPOと会社の違いでね。

Dさん 会社は給料が出てくるから。

Cさん 言つてはいたことには言つてもらつていいのでは。それを今は遠慮されているのでは。

Dさん していますね。(笑い)

Gさん お神輿経営というのがあつて、お神輿を担ぐのは結構。難しいんですよ。あれ、勝手では進まない。担いでいる人、それから前でリーダーをしている人、それからまわりで声を出して拍子を合わしている人。それがね、びたつと合うとね、お神輿の房がチャンチャンと揺れる、揺れ方がね。(笑い)動いているだけでいいというもんじゃないんです。

司会 クラスターはどうですか。(笑い)

Gさん イヤイヤ。(笑い)

Hさん クラスターは酔つ払いお神輿。(笑い)

Aさん 担いでいる人は6割くらいの力でいい。

Gさん 担いでいる人は重いから早く前に行きたがる。前棒の人はそれを抑える。上に立っている人は前を見ながらやる。沢山いるわけですよ、「みこしパレード」の時なんかね(お神輿が)繋がって来る。(上に立っている人は)怖いんですよ。それこそAさんの云う6割くらいでいいという言い方はそれなんです。

そこでね(上に立つ)理事長はヤッパリ止めたイカン。皆勝手にやつてんだから。しかし止めるのは難しい。(お神輿での)Iさんの役は。

Dさん 猪突猛進。(笑い)

司会 いや後ろで引つ張っている。(担ぐ人の)足をね。(笑い)

Gさん いずれにしても会社組織は、ヤレーといえはいいわけです。産業クラスターという組織は皆が参画していいと思わねばいけません。担いで重いけど面白いと思わねばいいんです。そういう組織にしないとイケない。

Dさん ホントですね。

司会 今のお神輿論は面白いですね。記事にさせてもらいます。(笑い)

もう少しいいところ悪いところ。Fさんどうですか。

Fさん (この会では)自分からやろうと思う人はいくらでもできる。これはいいところ。しかし余り規制がないとね。

Gさん でも産業クラスターは結構力ありますよ。ほかのNPOと比べたら結構あるんです。

司会 さつき言うのとチョット違うんじゃないですか。(笑い)

Hさん いやいや足並みを揃えればピットといくということですよ。

Gさん だから私はいつも言うけど長所は短所、短所は長所。

司会 そのフレーズはいいですね。ちゃんと書いておかないか。(笑い)

Bさん これタイトルですね。(笑い)

Dさん 長所は短所、短所は短所。(笑い)

司会 しかしいいタイトルですよ。(お金の儲けのためのNPO)なんてよりね。(次号につづく)(佐)

発行：NPO法人 産業クラスター研究会／〒239-0847 横須賀市光の丘8-3 YRPベンチャー棟209号
Tel & Fax：046-847-6355 E-mail：int_cluster@ybb.ne.jp
横浜事務所／〒236-0055 横浜市中区片吹69-26
Tel：045-781-8025
東京事務所／〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-25-21 渋谷NTビル3階(株)リズム内
発行人：木下 武